

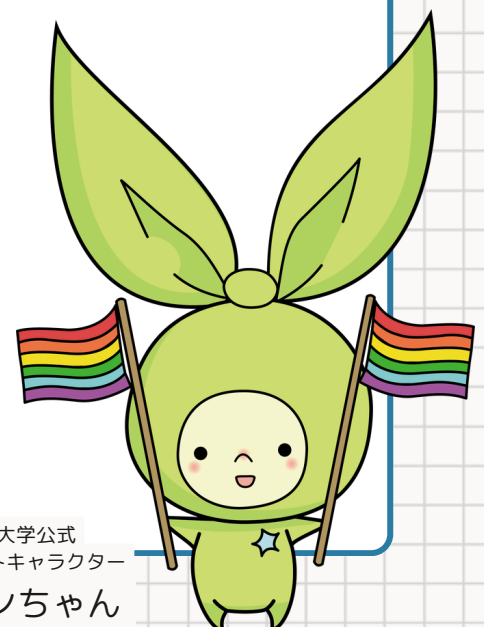
埼玉大学DEIコミュニティラウンジ  
SAiTO

# 2025年度活動報告書

2026年6月 発行

## 目次

- 1.はじめに
- 2.DEIコミュニティラウンジ“SAiTO”概要
- 3.活動報告
  - a. コミュニティスペース
  - b. リソース提供
  - c. 個別相談
  - d. イベント
  - e. 学内啓発・環境整備
  - f. 学外連携
4. 次年度に向けて
5. お問い合わせ・SNS



# 1 はじめに

SAiTOは、2026年4月で開室から1年半を迎えました。2025年度は、延べ200名の方にご利用いただきました。なかには、SAiTOを自分の「居場所」として定期的に利用してくれる方もいます。そのように、誰かにとっての「居場所」を実現することができたのは、SAiTOの理念に賛同し、活動をバックアップして下さる教職員、関係者のみなさま、そしてなにより、SAiTOを利用してくれている学生たちのおかげです。この場を借りて、御礼申し上げます。

いま、日本社会では、排外主義や自己責任論の高まりといった“逆風”が吹き荒れ、DEIの根幹ともいえる「人権」の概念が切り崩されようとしています。そのような社会をこれから生き抜いていかなければならない学生が、束の間であっても、ほっとして息をつけるような「居場所」が大学には必要です。ここで蓄えたエネルギー、つながった仲間、ともに学んだ知識をもとに、この社会を生き延びてほしい。そう願っています。

埼玉大学では、2020年5月に「ダイバーシティ宣言」を発表しました。さまざまなバックグラウンドをもつ構成員が、尊厳をもって、安心して過ごせる大学環境を実現していくために、学内外の関係部署等と連携しながら取り組みを進めてまいります。そのためにも、みなさまのご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

2026年6月

臨床心理相談員 古堂達也

## 2 DEIコミュニティラウンジ“SAiTO”概要



DEIコミュニティラウンジ「SAiTO」(サイト)は、ジェンダー、セクシュアリティを中心としたダイバーシティに関心のある埼大生のための居場所です。

※DEI：Diversity, Equity and Inclusionの頭文字で、「多様性」「公平性」「包摂性」という意味

場 所

研究機構棟3階309

(ダイバーシティ推進センター内)

開室日時

火・木・金曜日 10:00-16:30

(13:00-14:00 一時閉室)

## SAiTO (サイト) の由来

Site：「場所、敷地」または「(建設) 用地」

この居場所が、学生を中心とした利用者にとって、何かを始めたり取り組んだりするきっかけとなることを表現しています。

「埼玉」の「さい」、「彩の国」の「さい」

この居場所が、埼玉大学ひいては埼玉県内のDEI推進の拠点となることを表現しています。

「わたし」の「i」

「わたし」を中心にするながら、あるいは「わたし」を起点として、DEI推進の輪が広がっていく様子をイメージしています。

## 3 活動報告



### a コミュニティスペース

SAiTOには、ジェンダーやセクシュアリティを中心としたダイバーシティに関することについて話せるセミオープンなスペースがあります。本を読んだり、自習をしたりして過ごすこともできます。

コミュニティスペースを利用する方は、年齢、国籍、社会的出身、人種、民族、文化、宗教、言語、障がい、性別、性自認、性的指向などに関わらず、安心して過ごす権利があります。互いの権利が守られるよう、ご協力をお願いします。気になることがあれば、お気軽に職員までお声がけください。



## SAiTOのコンセプト

「SAiTO」では、わたしたちはだれもが次のような権利をもっていると考えます。スタッフは、これらの権利が守られるよう見守り、必要に応じて介入します。

### 差別や排除に さらされない

だれもが安心／安全に過ごす権利を持っています。周囲から勝手にあなたのアイデンティティをジャッジされたり、特定のアイデンティティや属性を理由に攻撃されたりすることはありません。

### 尊重される

「SAiTO」でどのように過ごすかは、他の利用者の権利を脅かさない範囲において、あなたの自由です。やりたくないことはやらなくていいし、言いたくないことは言わないでOKです。ぼーっとしたり、ただのんびりしたりするのも歓迎です。何かを強制されることはありません。

### 快適さと幸福 (ウェルビーイング)

「SAiTO」は、ジェンダーやセクシュアリティを含むダイバーシティに関心のあるすべての方のための居場所です。誰もが他の利用者の快適さと幸福を尊重します。スタッフは、すべての利用者の快適さと幸福が尊重されるよう行動し、望ましくない言動に対しては介入します。

「SAiTO」がすべての人にとって安全な場所であることを保障するのがスタッフの仕事です。何か気になることがあれば教えてください。

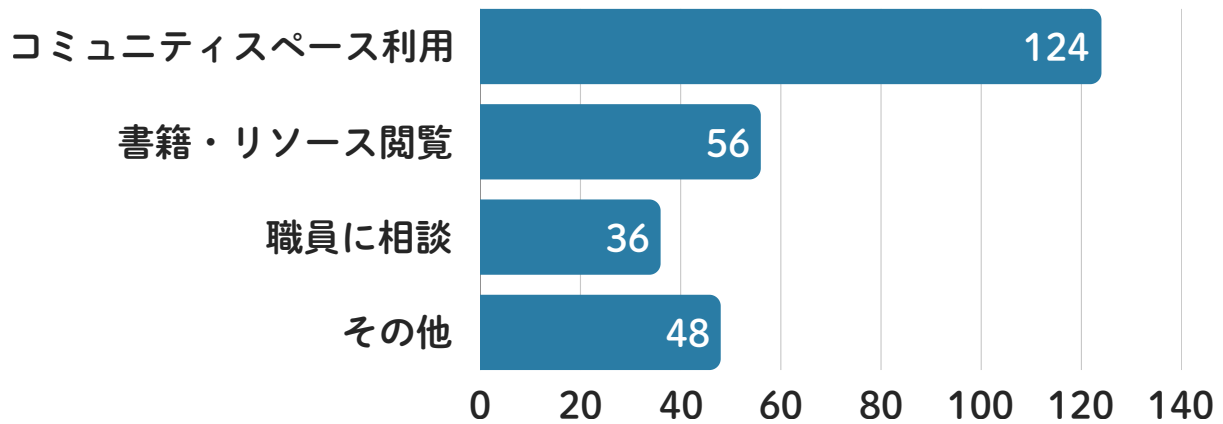
2024.11.28 作成

## 2025年度延べ利用者数

# 200名

※集計期間：2025.4.1～2026.3.31

## 利用目的



※複数選択可

※その他内訳：見学、イベント参加など

SAiTOでは生理用品の無料配布をおこなっています。性別を問わず、どなたでもご自由にお持ちいただけます。申請等は必要ありません。コミュニティスペース内に置いてあります。

※お一人様一回につき一個まででお願いします。



ダイバーシティ推進センターでは、学生団体Spring Upと協働し、学内の「みんなのトイレ」に無料の生理用品を設置するプロジェクトを実施しています。詳細は、ダイバーシティ推進センターの[ウェブサイト](#)をご覧ください。



## b リソース提供

SAiTOでは、ジェンダーやセクシュアリティを中心としたダイバーシティに関する書籍（一般書、学術書、雑誌、漫画など）を取り揃えています。これらの書籍は、コミュニティスペース内で自由に閲覧ができるほか、埼玉大学の学生、教職員に限り、貸し出しをおこなっています。



### 図書貸し出しについて

対象：埼玉大学学生、教職員

冊数：3冊まで

貸出期間：2週間



SAiTO蔵書リストは[こちら](#) ▶



男女共同参画機構（旧・国立女性教育会館）のパッケージ貸出を利用しています。こちらも、SAiTOで閲覧・貸し出しが可能です。蔵書リストは[SAiTOウェブサイト](#)にて随時更新しています。

また、学内外のジェンダーやセクシュアリティに関するイベント情報、小冊子、相談先の情報など、様々なリソースにもアクセスすることができます。

SAiTOでのチラシ掲示・配架を希望される方は、広報依頼フォームよりご申請のうえ、下記の宛先までお送りください。



〒338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保255

研究機構棟3階309

ダイバーシティ推進センター

DEIコミュニティラウンジ「SAiTO」



広報依頼は[こちら](#) ▶

## c 個別相談

ジェンダーやセクシュアリティを中心としたダイバーシティに関することについて、専門の知識や経験をもった職員に相談することができます。相談された内容のプライバシーは守られます。

### 個別相談について

対象：埼玉大学学生（大学院生含む）

※教職員の方でご相談を希望される方は、ダイバーシティ相談をご利用ください。

対応言語：日本語

※その他、筆談やドキュメント共同編集ツールを使用した相談も可能な場合があります。

必要な方は、お手数ですがお申込みの際にお申し出ください。

相談内容：以下のような内容について、ご相談することができます。

例)

- 同性の好きな人がいるが、気持ちを伝えて関係が壊れてしまわないか不安。
- 性別に違和感があるが、理解が得られるか分からず周囲に話せずにいる。
- 自分自身の性の在り方について、より理解を深めたい。
- 授業やサークルで、LGBTQ+について差別的な発言があり、環境を改善したい。
- ジェンダー規範を押し付けられるのがつらい。ジェンダー規範に抗いたい。
- 学内での通称名使用や性別変更について知りたい。
- LGBTQ+のAlly（アライ：理解者、支援者）としてできることを考えたい。

### 2025年度延べ相談件数

# 28件

※集計期間：2025.4.1～2026.3.31

相談をご希望の方は、下記のフォームからお申込みください。  
担当職員が内容を確認し、面談実施日についてご連絡します。

個別相談のご予約は[こちら](#) ▶



## d イベント

SAiTOでは、ジェンダーやセクシュアリティを中心としたダイバーシティに関することに関心のある埼玉大生が安心して交流できるよう、定期的にイベントを開催しています。

### 2025年度開催実績

開催日時	タイトル	テーマ
2025/5/13	おしゃべりランチ会vol.2	教えて！みんなの勉強法
2025/6/3	第1回SAiTOゼミ	“Ally” って、つまりどういうこと？
2025/6/13	おしゃべりランチ会vol.3	TokyoPride2025ゆる報告会
2025/6/25	学生（わたしたち）が創る埼玉大学のダイバーシティと居場所	
2025/7/8	おしゃべりランチ会vol.4	ノンバイナリー
2025/7/24	SAiTO手芸クラブ	
2025/10/2	おしゃべりランチ会vol.5	夏の思い出シェア会
2025/10/30	ゆるスポーツ大会	
2025/11/11	おしゃべりランチ会vol.6	“好き” ってなんだ？
2025/11/28	第2回SAiTOゼミ	『トランスジェンダー入門』を読む
2025/12/23	おしゃべりランチ会vol.7	2025年振り返り
2026/1/22	第3回SAiTOゼミ	『小山さんノート』を読む (ゲスト：対馬果莉さん)

### 2025年度イベント延べ参加者数

# 191名

※集計期間：2025.4.1～2026.3.31



## おしゃべりランチ会

ジェンダーやセクシュアリティに関することでも、関係ない（と思われるような）ことでも、ざっくばらんにランチをしながらお話する会です。比較的少人数で、カジュアルに交流できます。毎回、何かしらのテーマを設定しています。

※昼食は各自ご持参いただいています。

※電子レンジはありませんでしたが、2026年5月よりお使いいただけるようになりました！ケトルも自由にお使いいただけます。



## 参加者の感想

- 色々なジェンダーのコンテンツの話が聞けてよかったです。
- 大学で過ごしててなかなかこうしたテーマで共有できる人と出会う機会がなかったので、いい機会になりました。嬉しい・苦しいを共感したり傾聴したりする場があるのがとても心強いなと思いました。
- 周りの友達と普段できない、聞いてもらえないような話をできる場があってとても嬉しいです。このイベントを楽しみに大学に来られるのも良いなと思います。また参加したいです。

## SAiTOゼミ

ジェンダーやセクシュアリティを中心としたダイバーシティに関心のある学生が、学びを深めたり、似た関心をもつ学生とつながったりするための自主ゼミナール。毎回テーマを設定し、それに関連した書籍、論文、映像・音声資料などを閲覧・視聴したうえで、感じたことや考えたことなど自由にディスカッションします。

事前に閲覧、視聴する資料については、原則SAiTOで準備しますので、費用負担は発生しません。



## 参加者の感想

- アライについて、時間をとって深く考えることができ良かったです。また、自分と同じことを考えている人がいる安心感？、差別をなくそうとする人として、この方向で良いかもという感じがしました。また、自分で気づけていなかったこと、あまり深く考えていなかったことを知れて良かったです。
- ずっと読みたかったなという本に読書会のような形で、他の人とも一緒に触れることができ良かったです。輪読って、楽しいですね。尊厳を手放さずにいること、「生存」に取り合ってくれない社会に問いたいこと、取るに足らなくない踊りや日記など……やりきれなさを共有できて楽しかったです。

## 公開イベント

### 「学生（わたしたち）が創る埼玉大学のダイバーシティと居場所」

埼玉大学には様々なバックグラウンドをもった学生が在籍しています。このイベントでは、多様性が当たり前で尊重されるキャンパスづくりに向けた活動に取り組む2つの学生団体のメンバーからお話を聞き、大学における「ダイバーシティ」の推進や「居場所」づくりについて考えました。

当日は、授業の履修学生およそ120名に加え、このテーマに関心のある一般学生、「彩の国女性研究者・技術者ネットワーク」参画機関の皆さま、大学関係者等、総勢140名の方にご参加いただきました。

※このイベントは、渡辺大輔先生ご担当の「ジェンダー論入門」の公開授業として実施しました。



## 登壇者

- 小室めいさん（学生団体「Rainbow Umbrella」所属）
  - Rainbow Umbrella：Rainbow Umbrella（れいんぼーあんぶれら）は、誰もが安心して生活できる社会の実現を目指して活動する、有志の埼玉大学生による団体です！🌈🏳️‍🌈
- 岩下知歩さん（学生団体「Spring Up」所属）
  - Spring Up：🌱埼玉大学生が主体の学生団体🌱埼玉大学、さいたま市、埼玉県をフィールドに、ジェンダーなど努力では変えられないあらゆる差別問題、また、社会に対する関心が無い又は低いという問題の解決に取り組んでいきます。



Instagram



Instagram

## 参加者の感想

- 「多様性は他人事ではない」ということを普段、そして今回の講義を通して強く感じました。誰もが安心して過ごせる「居場所」は本当に必要だと思います。私も日頃の関わりの中で、多様な人がいるということをお忘れずに過ごしていきます。
- 埼大生が関わるジェンダーに関する団体が複数あることを初めて知りました。またどちらも近年創設されたことを知り、これから更に活動が広がっていくのではないかと思います。私は教育学部に所属して小学校教員を目指しているのですが、その中でジェンダーに関する知識を身につけておきたいなと思い、ジェンダー論入門の授業を受講させていただきました。今まで知識や興味があまりなかったのですが、授業を受けるうちに考えが深まり、今日のイベントを通してより身近にジェンダーに関する問題を捉えることができました。
- つい先日、サークルの合宿がありましたが女子部屋、男子部屋と分けていたけど本当にそれでよかったのか考えさせられました。トイレに生理用品があるので、急に来たときに本当に助かっています。話して下さったおふたりを応援しています。
- 若い人の活動を聞いて、私達もアップデートしていかななくてはと力を得ました。社会を変えたいという意欲を聞いてうれしい限り。遠慮せずどんどん発信しましょう。ありがとうございました。（外部民間団体の方）

## SAiTO ZINE Fest

社会において、いないものとして扱われたり、かき消されたりしがちなクィア(※)の声を掬い上げるようなZINE(※)をスタッフが30冊ほど選書し、SAiTO内で展示しました。

選書したZINEのラインナップは、SAiTOのInstagramのストーリーハイライトからご覧いただけます。

※クィア：規範的ではない性のあり方を持つ人

※ZINE：個人で制作した少数部数の出版物。「Magazine(雑誌)」の「Zine」が由来と言われている。「同人誌」や「リトルプレス」とも呼ばれる。作者が自分の伝えたい内容を自由に書き、販売までおこなう(書店等に委託する場合もある)。フェミニストコミュニティなど社会運動のなかでは、かつてから「ミニコミ誌」として自主出版の文化があったが、近年では、クィアコミュニティにおいても個人のナラティブ(語り)を発信する貴重な媒体として注目を集めている。



実施期間：2025年6月10日(月)  
~6月27日(金)



また、SAiTOでは、学生からの寄稿を中心に「ダイバーシティ」や「居場所」をテーマにしたZINE「SAiTO ZINE vol.1」を作成しました。SAiTO内で閲覧できるほか、在庫状況によってはお渡しすることも可能です。ご関心のある方は、スタッフまでお尋ねください。

Instagram ▶



## SAiTO手芸クラブ

「手芸」はこれまで「女性がすること」「個人的なこと」と見なされ、その成果や影響力は過小評価されてきました。しかし、最近では、そうした社会からの意味づけに対して抵抗する形で、あえて「手芸」を通じて「政治的」なメッセージを発信する活動も見られています。

SAiTO手芸クラブでは、刺繍、編み物、ビーズ手芸などの作品作りを通じて、社会規範に抵抗、あるいは問い直しを図ります。

また、手を動かしながら個人的な経験をシェアすることで、それが単なる「個人の問題」ではないことに気付くことがあるかもしれません。それこそが、フェミニズムにおける「個人的なことは政治的なこと」です。

※参加費は無料です。

※基礎的な道具と素材はSAiTOで用意しています。

2026年2月より、安定的な開催と居場所としての機能強化のため、お昼休みの時間に毎月一回のペースで定期開催することになりました。



## ゆるスポーツ大会

ユニバーサルスポーツを通じて、からだを動かすことを楽しむことを目的としたイベントを実施しました。とくに、トランス／ノンバイナリーの人たちは、スポーツにおいてバイナリー（※）な空間やルールに晒される場面が多く、結果的に平等な参加の機会を阻害されています。このイベントでは、性別やスポーツの得手／不得手を問わず参加しやすい種目の選択やグラウンドルールの設定を心がけました。また、企画・運営に際して、障がい学生支援室よりアドバイスいただくなどのご協力をいただきました。

※バイナリー：性別二元的。性別は「女性」と「男性」の二通りだけであるという価値観、考え方。

### 「ゆるスポーツ」とは

年齢や性別、障がいの有無、スポーツの得意／不得意に関わらず、誰もが参加しやすいスポーツです。筋力、体力、跳躍力といった身体能力が求められる「競技スポーツ」とは異なり、負荷が少なく気軽に楽しめるのが特徴です。

### 種目について

パラリンピックの種目でもある「ポッチャ」とユニバーサルスポーツといわれる「モルック」をおこないました。未経験者でも安心してご参加いただけるよう、みんなでルールを確認しながら進めました。

### 更衣スペースについて

着替えを希望される方でジェンダー分けされていない更衣室を希望される方は、申し込み時にその旨をお知らせいただくようアナウンスしました。



## 参加者の感想

- いろいろな人がいて、ゆるくて楽しかったです。
  - 競技内容もよくて、色んな人と会えて楽しかったです！グラウンドルーズはあったのですが、「敬称を開示されていない限りは"さん"で呼ぶ」などより具体的な実装がされるとうれしかったです。
  - やったことのないスポーツを知れて、楽しめて良かったです。参加者も多く色々な人と関わりを持てたと思います。自己紹介のときに敬称も一緒にシェアすれば良かったと思いました。
- こうした学生の声を受け、敬称の呼び分けといった呼称に関して、イベントのグラウンドルールに盛り込むことはもちろんのこと、運営で参加する教職員等にも事前に周知・徹底することを、ダイバーシティ推進センター内で確認しました。

## e 学内啓発・環境整備

こちらからPDF版を  
ご覧いただけます



- ・ 教員によるハラスメントやマイクロアグレッションに関する相談が寄せられることから、学生対応において留意すべき言動を具体例を示しながら解説した「大学教員のための性の多様性を尊重した言動ガイド」を発行しました。(2025年12月)
- ・ 生理用品とコンドームの無料設置
  - 社会的に「女性」以外のジェンダーで生活しながら生理を経験する人の存在が不可視化されている現状に鑑み、SAiTOコミュニティスペース内に無料の生理用品を設置しました。ジェンダーを問わず利用できることを周知しています。
  - 性感染症予防啓発の多くが異性間の性交渉を前提としている現状に鑑み、よりインクルーシブな性感染症予防啓発を目的として、SAiTOコミュニティスペース内に無料のコンドームを設置しました。
- ・ 受験生向けコンテンツ「SAIDAI CONCIERGE」にて、卒業生を取り上げた記事を示すタグが「OB・OG」とバイナリーな表現であったところ、広報課に申し入れをおこない、よりインクルーシブな「卒業生」という表記に変更されました。
- ・ 構内の「みんなのトイレ」のうち、複数個所で管理状況や案内表示に問題があることが確認されたことから、各学部事務所等に申し入れをおこなったところ、一部のトイレで管理状況が改善されました。
- ・ 総合体育館に男女別更衣室しかなく、トランス／ノンバイナリーの学生が利用しづらい現状に鑑み、学生支援課と協働のもと、各更衣室内に個別の更衣ブースを設置しました。(右写真)
- ・ 「機微な個人情報」である登録上の性別情報が不特定多数の目に入るリスクをなくすために、2026年度の教職員向け健康診断の問診票を配布する際の封筒から、性別情報の記載が削除されることとなりました(総務部人事課)。
- ・ 埼玉大学の諸規則における「配偶者(届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。)」について、同性パートナーも適用とする運用が可能であることを確認しました(総務部人事課)。



更衣室内に設置された  
個別の更衣ブース

引き続き、関係部局等と連携しながら、大学環境改善や埼玉大学構成員の意識啓発に取り組んでまいります。



埼玉大学公式  
マスコットキャラクター  
メリンちゃん

## e 学外連携

- 「Tokyo Pride 2025」でのUDAブースにリーフレット類を配架
  - 2025年6月7日～8日に開催された「Tokyo Pride 2025」において、UDA (University Diversity Alliance) 出展ブースの「各大学の取り組み紹介コーナー」に、埼玉大学ダイバーシティ推進センターやSAiTOのリーフレットや啓発資料を配架いただきました。UDAブースでは、全国各地の大学から取り組みを紹介する資料が展示されており、大学におけるジェンダー・セクシュアリティに関する取り組みの広がりを感じました。
- 「LGBTQ+インクルーシブ・キャンパス・ネットワーク2025」に参加
  - 2025年8月26日に開催された「LGBTQ+インクルーシブキャンパスネットワーク2025」に、ダイバーシティ推進センター教職員数名が参加しました。このイベントは、おもに関東近郊でLGBTQ+学生支援やダイバーシティに取り組む大学関係者が集うネットワーキングイベントです。今年で3回目になるこのイベントには、40名程の大学関係者が参加し、各大学の取り組みについて情報交換をおこないました。
- 「埼玉県アライシンポジウム」にパネル出展
  - 2025年8月29日に開催された「埼玉県アライシンポジウム」に、県内のALLY大学ネットワークの参加校として、埼玉大学の取り組みをまとめたパネル展示を実施しました。また、ダイバーシティ推進センター教職員数名が参加し、県内の企業・行政・教育関係者らと取り組みについて情報交換をおこないました。



## 4 次年度に向けて

2024年10月の開室からの半年間が、SAiTOを軌道に乗せるための準備期間だったとすると、2025年度は実質的にはファーストイヤーでした。2年目となる2026年度は、より広く学生にSAiTOの存在を周知するための取り組みを進めていきます。また、同時に、SAiTOの取り組みに学生がより主体的に関われるような仕組みも検討しています。引き続き、多様なバックグラウンドをもつ学生が安心して過ごせる居場所としての機能とともに、学生が主体的に取り組みを起こしていけるプラットフォームとしての機能を充実させていきます。今後のSAiTOの活動にご注目ください！

2026年6月

## 5 ソーシャルメディア・お問い合わせ

SAiTOでは、Instagramで開室情報やイベント情報を発信しています。また、SAiTOの取り組みやイベント情報を定期的にお知らせするニュースレターを配信しています（職員のおまけコラムもあります！）。

ぜひご登録をお願いします！



webサイト



Instagram



ニュースレター  
登録フォーム

## お問い合わせ

活動報告書の内容に関するお問い合わせは、以下のメールアドレス宛にお願いします。

DEIコミュニティラウンジSAiTO

Mali : [diversity-lounge@gr.saitama-u.ac.jp](mailto:diversity-lounge@gr.saitama-u.ac.jp)

〒338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保255

研究機構棟3階309

